

39947 ステアリングダンパーステー GC-017 用(39984 専用)

この度はGクラフト製品をお買い上げ頂きまして有難うございます。
装着の際には、この取扱い説明書を良く読んで安全に作業して下さい

！ 注意事項 ！

- 取付け作業は安全かつ平坦な場所を選び、車体を確実に固定、安定させてから行って下さい。メンテナンススタンド等があればより安全に作業できます。
- ノーマルパーツをはずす際、又は取付け作業にはサービスマニュアルを参考にして下さい
- この説明書に反した使用方法、取付けでの破損や損害につきまして当社は一切の保証をいたしません。
- 作業終了後は必ずボルトの増し締めをおこなって下さい。走行後も随時確認をおこなってください。

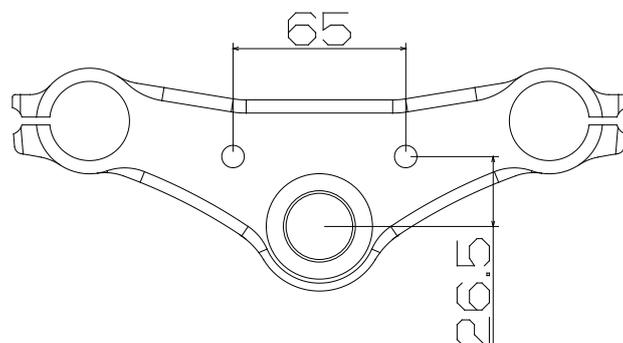
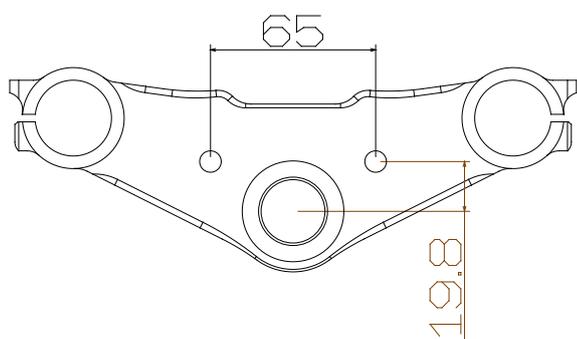
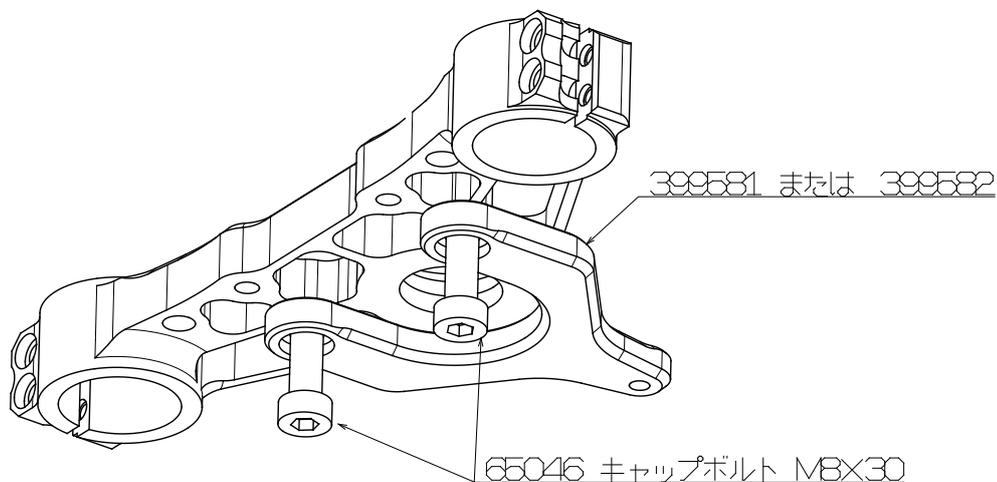
- 本製品は 39984 GC-017 (ネック長 30mm ロング)専用です。
※タイプ S は、タンクとのクリアランスが無いため、装着不可です。
- 推奨ステアリングダンパーハイパープロ製 75mm RSC タイプ(ピロボール正タイプ)
- (ボディランプは、アクティブ製 ハイパープロ ホディランプ TYPE-3 品番 22162246 を別途ご用意ください。)
※その他メーカーのステアリングダンパー 装着不可。
- 弊社モンキー用Φ30 フォークステムキット専用 装着確認済みステムキット 31181、31182、31183、31090、31133
その他のステムキットはお問い合わせください。
- ノーマルハンドル用、KSR、RS フォーク用ステムキット 装着不可。
- モンキー、ゴリラ純正タンク専用。
※社外製のガソリンタンクは確認がとれておりません。弊社 Z II タンクは装着不可。

パーツリスト

品番	品名	個数
399581	ステー	1
399582	ステー	1
399583	ステー	1
399584	Φ48 クランプ	1
399471	専用カラー 13mm	1
399472	専用カラー 45mm	1
399473	低頭キャップボルト M6×30	1
65000	キャップボルト M5×20	2
65009	キャップボルト M6×15	2
65046	キャップボルト M8×30	2
690118	キャップボルト M8×65	1
5101911	M8 シム	1

取り付け手順

1. トップブリッジ裏から付属のキャップボルト M8×30 を使用して、399581 または 399582 をハンドルクランプと共締めします。
使用するステムキットによって、ステーが異なりますので下図を参考に装着してください。



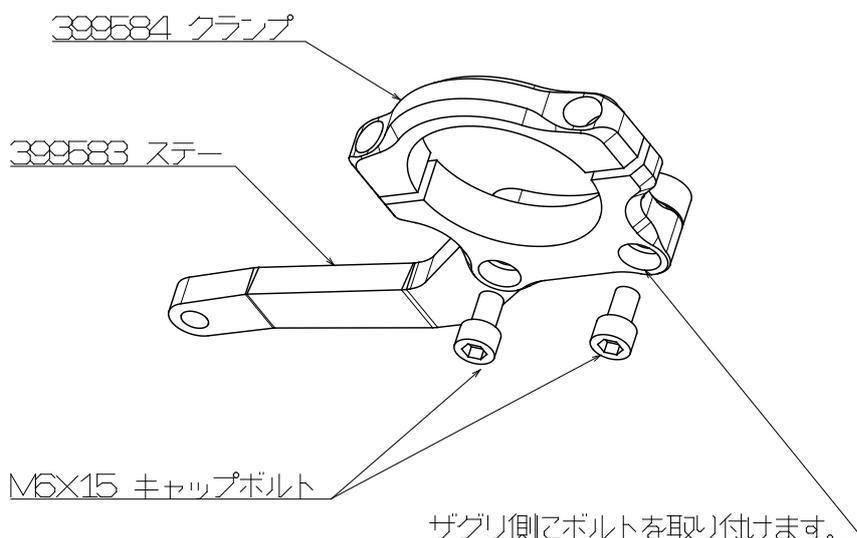
上記寸法のステムキットの場合は
399581のステーを使用します。

上記寸法のステムキットの場合は
399582のステーを使用します。

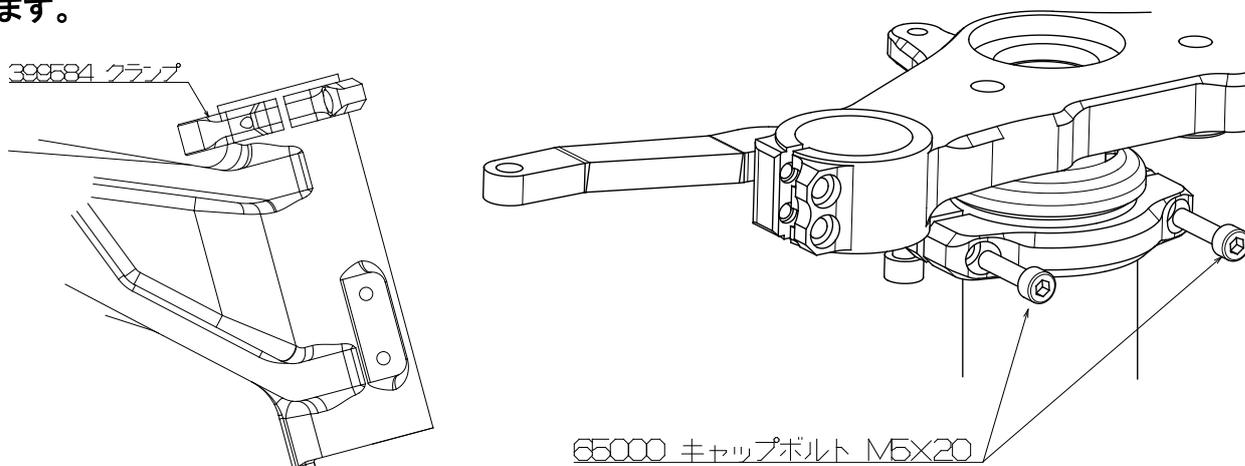
ステー本体に「19.8」の文字があります。

ステー本体に「26.5」の文字があります。

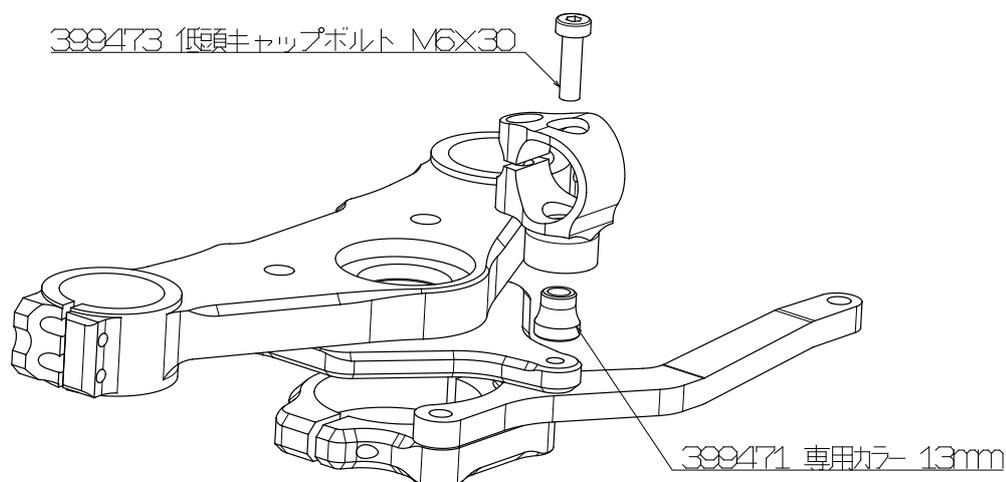
2. 399583 ステーと 399584 クランプを、付属のキャップボルト M6×15 を使用して固定します。
ボルトは図のように、ザグリのある方からボルトを差し込みます。



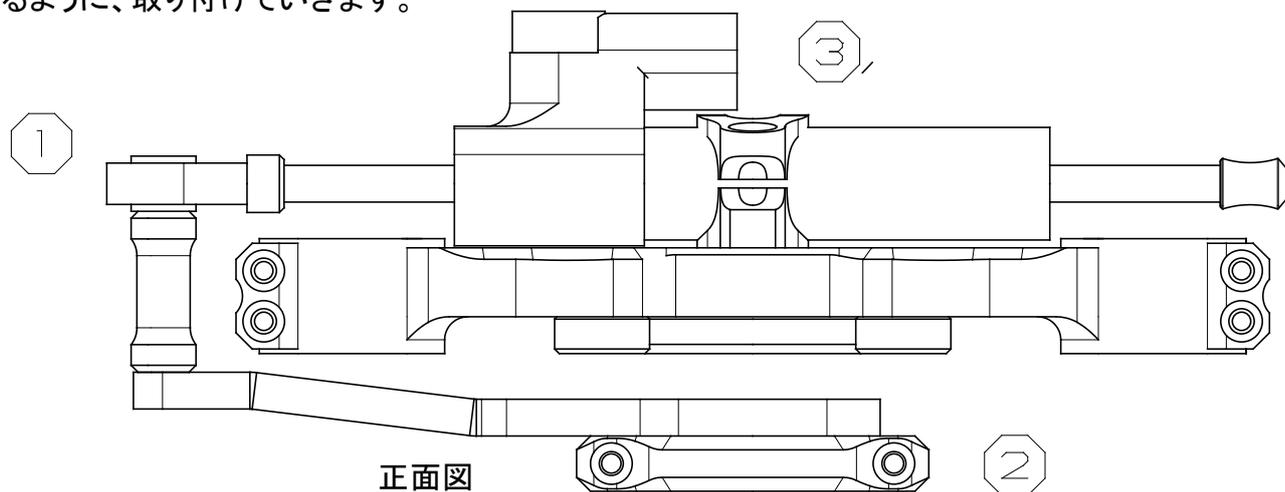
3. 2 で組み立てたクランプを 65000 キャップボルト M5×20 を使用してヘッドパイプに取り付けます。
 メインフレーム本体やトップスレッドに干渉しない位置で装着してください。
 ステアリングダンパーを取り付けの際に調整しやすくする為、クランプは、まだ仮締めにしておきます。
 クランプのボルトは、左右均等に閉め込んでください。
 ※GC-017 はヘッドパイプに切削痕がある為、クランプした際に、クランプ内側に締め跡が付く場合があります。



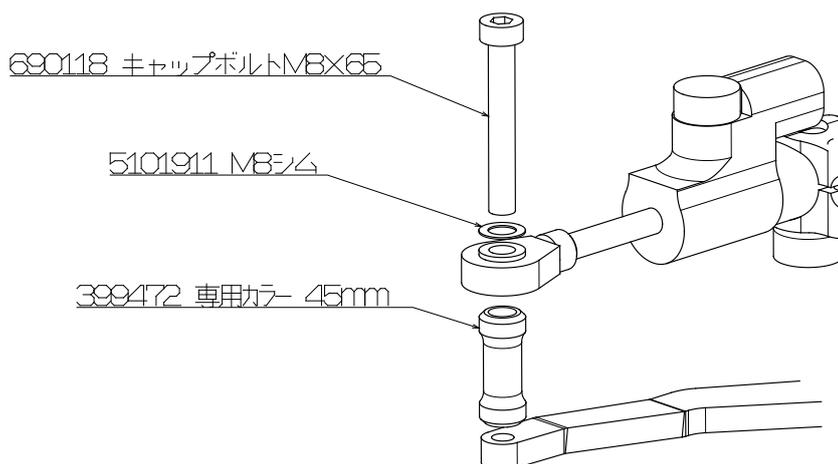
4. 1 で取り付けしたステーに、ボディクランプ TYPE-3(別売り)を 399473 低頭キャップボルト M6×30 と 399471 専用カラーを使用して取り付けます。
 取り付けしたボディクランプに、ステアリングダンパーステー本体を通して仮締めしておきます。



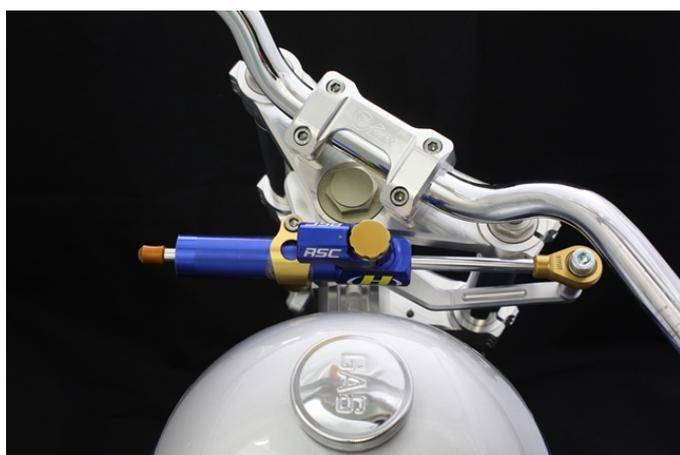
5. 下図の順番で各ボルトを本締めしていきます。図のようにステムキットや車体に対して水平、垂直なるように、取り付けていきます。



- ① 399472 専用カラー、690118 キャップボルト M8×65、5101911 M8 シムを使用してダンパー本体とステーを固定します。



- ② ①で取り付けしたステーと専用カラー、ダンパー本体を図のようなレイアウトで、車体に対しておおよそ水平、垂直にしてから、ヘッドパイプ側のクランプのボルトを本締めします。
- ③ ハンドルを左右それぞれフルロックの状態にして、ダンパーとロッドが底つきしない位置で、ボディクランプのボルトを本締めして、ダンパー本体を固定します。



※ ハンドルの形状や、フロントフォークの突き出し量、ハンドル周りの部品レイアウトによっては、ハンドルをフルロックした際に、ダンパー本体やロッドが干渉する場合があります。その際は、ヘッドパイプ側のクランプ位置の調整や、ダンパー本体の位置調整や各 부품のレイアウト変更が必要になります。

各部ボルトの締め付け確認と各 부품の干渉が無いことを確認して作業終了です。

必ずならし運転をして安全を確認した後、走行して下さい。

走行前及び走行後の確認は必ず行うようにしましょう。

製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良等があった場合は、同等の製品とお取替え、または無償修理いたします。但し、それ以外の故障や破損、事故等につきましては補償の対象とはなりませんのでご容赦ください。

製品についてのお問合せ、ご相談は下記住所へご連絡ください。

有限会社 ギルドデザイン

519-0212 三重県亀山市のぼの町 13-2 Tel.0595-85-2278 Fax.0595-85-2647